

平成
29年度

札幌市 生物多様性レポート

Biodiversity Report in Sapporo-city



目次

生物多様性さっぽろビジョンの概要	2
コラム～生物多様性の基礎知識～	3
札幌市の取組	4
札幌市の取組一覧	7
生物多様性さっぽろビジョンの進行管理	12

札幌市は、平成24年度に策定した「生物多様性さっぽろビジョン」に基づき、今、温暖化と並ぶ深刻な地球環境問題となっている生物多様性を守るため、さまざまな取組を進めています。

札幌市生物多様性レポートでは、平成28年度の取組について報告します。

生物多様性さっぽろビジョンの概要

私たちの住む札幌市では、これまで6,000種以上の動植物が記録されていますが、都市化に伴い、生物多様性が失われることが心配されています。

そのため、札幌市では、生物多様性に関する取組の方向性を示す長期的な指針として「生物多様性さっぽろビジョン」を策定し、体系的・総合的な施策の推進を図っています。

ビジョンに掲げる「北の生き物と人が輝くまち さっぽろ」の理念のもと、市民やNPO、事業者などのあらゆる主体とともに、生物多様性の保全のため、札幌市の自然環境を保全するとともに、市民一人ひとりのライフスタイルの見直しを進めていきます。

「生物多様性さっぽろビジョン」の体系図

理念

北の生き物と人が輝くまち さっぽろ

目標

豊かな生物多様性と共生する都市づくり

生物多様性に配慮したライフスタイルの実践

伝統資源の継承及び創造

推進する施策

土台形成 意識・参加・連携

施策の柱 1

理解する

生物多様性に対する理解を深めます

- ①自然とのふれあいの場の充実
- ②環境教育・普及啓発
- ③調査分析・情報共有
- ④生物多様性の保全及び持続可能な利用に関する技術の向上

施策の柱 2

協働する

生物多様性の保全に皆で取り組みます

- ①活動主体の育成・支援
- ②連携の仕組みづくり

実践行動 保全・持続可能な利用

施策の柱 3

継承する

生物多様性を守り育て、将来に伝えます

- ①生息・生育環境の保全と拡大
- ②野生生物をめぐるトラブルの軽減
- ③環境負荷の低減
- ④歴史的・文化的資産の継承

施策の柱 4

活用する

生物多様性の持続可能な利用を進めます

- ①自然を活かすライフスタイルの推進
- ②環境に配慮した消費行動の推進
- ③持続可能な社会経済活動への活用

札幌市の鳥は、
わたくしカッコウなのです。
生物多様性について
わたくしが解説するッコー



札幌市の生物多様性
PRキャラクター
カッコウ先生

生物多様性の基礎知識

生物多様性とは…

“生き物どうしのつながり”を表す言葉です。

地球上には、約180万種、未知のものも含めると、3,000万種とも推定される生き物が存在しています。すべての生き物は、食べたり食べられたり、競争したり、助け合ったりして、互いに関係しながら複雑につながりあって生きています。このように様々な生き物が存在し、それぞれがつながり合っている状態を表すのが「生物多様性」という言葉です。この生物多様性の喪失は、世界中の生物多様性に依存している私たちの暮らしに大きな影響を与えます。

生態系サービス

私たち人間の命と暮らしは、生物多様性の恵み（生態系サービス）に支えられています。

すべての生命の基盤です

植物が酸素をつくり、微生物が豊かな土壌をつくるなど、多くの生き物の営みによって、生命の生存環境が支えられています。



生活の糧です

多様な生き物は、食物・衣服・木材・燃料・医薬品など生活に必要な資源として、衣・食・住を支えています。



豊かな文化の根源です

地域の多様な生態系や生き物は、精神的豊かさ、自然観などの形成などに寄与し、祭り・宗教・郷土料理など、地域の自然に根づいた文化の土台となっています。



生活の安全を支えます

豊かな森林生態系は、水を蓄えたり、二酸化炭素を吸収するほか、土砂崩れの防止や防風などの機能を持っています。



生物多様性の危機

今、多くの生き物が、絶滅の危機にあります。

生物多様性は、主に人間活動の影響により、4つの危機にさらされ、急速に失われつつあります。

現在、地球上では自然の速さの1,000倍というスピードで生き物の絶滅が進んでおり、将来的には人類も存亡の危機に直面することが懸念されます。

第1の危機 開発や乱獲による危機

開発や乱獲、過剰な採取によって、多くの生物が絶滅の危機に直面しています。

第2の危機 自然に対する働きかけの減少による危機

人工林や農地の放置等により、里地里山に暮らす動植物が絶滅の危機にあります。

第3の危機 外来種や化学物質の持ち込みによる危機

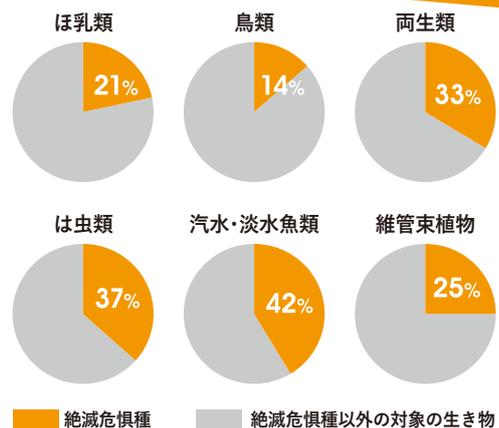
外来種の中には在来種を捕食したり、生息・生育場所を奪ったりするものがあります。化学物質には動植物への毒性をもつものがあります。

第4の危機 温暖化など地球環境の変化による危機

平均気温が1.5～2.5℃上がると、動植物の20～30%は絶滅のリスクが高まるといわれています。

〈絶滅危惧種の割合〉

絶滅危惧種
3,596種



※環境省レッドリスト2015(環境省、2015)

生物多様性を守るには

できることから始めましょう。

自然環境や札幌に生息・生育する動植物を守るだけでなく、省エネルギー・節電などの地球温暖化対策や、地産地消やごみ減量など、環境に配慮した行動は生物多様性の保全につながります。

生物多様性を守るために今すぐできる行動をまとめた「今、できることから始めよう!!～生物多様性さっぽろ実践ハンドブック～」をもとに、今、できることから始めましょう。



札幌市の取組

札幌市では、「生物多様性さっぽろビジョン」に基づき、生物多様性に対する理解の促進及び保全に向けた行動の実践を推進するため、さまざまな取組を進めています。

自然環境の保全とライフスタイルの見直しを進めます。

生物多様性の保全

生物多様性推進事業（環境局 環境管理担当課 TEL 011-211-2879）

さっぽろ生き物さがし2016

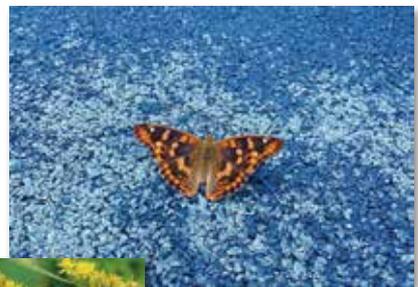


札幌市では、平成28年7月23日～10月30日にかけて、「さっぽろ生き物さがし2016」を行いました。「さっぽろ生き物さがし2016」は、札幌らしい自然環境に生息・生育する代表的な動植物である「指標種」のうち、トンボやチョウ、木の実など7つのグループについて市内の生息・生育状況を調べるものです。参加した皆さんには、確認した生き物について、見つけた場所や日時を報告していただきました。

調査には、84チーム、546名が参加し、総データ数は2,197件になりました。

調査によって得られた結果は、対象の生き物ごとに、見つけた環境や季節について整理し、参加者の皆さんから寄せられた写真とともにニュースレター形式でまとめました。また、結果をもとに作成した「分布マップ」や、参加者が撮影した写真を展示するパネル展を開催しました。

▶写真コンテスト作品



▼ニュースレター



<http://www.city.sapporo.jp/kankyo/biodiversity/chosa/28chosa.html>

まちなか生き物活動



「まちなか生き物活動」は、生物多様性に対する市民の関心と理解を深めるとともに、多様な主体の行動や連携の促進を図ることを目的とし、まちなかで生物多様性の保全に関する活動を行うもので、NPO団体や企業などから広く企画提案を募集し、優秀な企画提案者に対し業務を委託し、実施しました。

平成28年度は、「エゾシカをテーマとした体験事業」と「昆虫採集教室inトンネウス沼」を実施しました。「エゾシカをテーマとした体験事業」では、エゾシカ肉の料理教室やエゾシカ角の加工教室など全9回のイベントに、延べ215名が参加しました。「昆虫採集教室inトンネウス沼」では、55名の参加者が、トンボの採集や観察を行いました。



◀エゾシカをテーマとした体験事業

昆虫採集教室inトンネウス沼▶



<http://www.city.sapporo.jp/kankyo/biodiversity/machinaka.html>

生物多様性さっぽろ活動拠点ネットワーク



札幌市では、平成25年10月、札幌市内の環境関連施設による「生物多様性さっぽろ活動拠点ネットワーク」を立ち上げました。

このネットワークは、生物多様性保全の活動拠点として位置付ける19施設（平成29年12月現在）及び札幌市で構成し、拠点間の情報共有や連携・協働を進め、生物多様性に対する市民の理解促進と市内全体の生物多様性保全活動の活性化を図っています。

平成28年度は、15の施設を巡る「いきものつながりクイズラリー」を実施し、255名が参加しました。

<http://www.city.sapporo.jp/kankyo/biodiversity/network.html>

▼「いきものつながりクイズラリー」ポスター



活動拠点

札幌市水道記念館、札幌市円山動物園、札幌市下水道科学館、札幌市環境プラザ、札幌市百合が原緑のセンター、サッポロさとらんど、札幌市豊平公園緑のセンター、札幌市博物館活動センター、札幌市平岡樹芸センター、サンピアザ水族館、北海道博物館、札幌市豊平川さけ科学館、札幌市保養センター駒岡、札幌市青少年山の家、札幌市滝野自然学園、札幌市北方自然教育園、サッポロピリカコタン、札幌市定山溪自然の村、札幌市動物管理センター

生物多様性さっぽろ絵本コンテスト



平成28年10月3日～12月19日にかけて、生物多様性をより身近に感じ、将来に守り引き継いでいくことの大切さを伝えるため、子ども向け絵本作品を募集する「第3回生物多様性さっぽろ絵本コンテスト」を実施しました。

2部門合計36作品の応募の中から、最優秀賞と優秀賞を選出し、表彰式や作品展を開催しました。

受賞作品は、札幌市電子図書館でも貸し出しを行っています。



▲一般部門最優秀賞「くらげのひみつ」



▲チャレンジ部門最優秀賞「森の妖精」

<http://www.city.sapporo.jp/kankyo/biodiversity/ehon/28ehon.html>

子ども向けレッドリストハンドブック



札幌市に生息・生育する絶滅のおそれのある野生生物についてのリストである「札幌市版レッドリスト2016」について、子ども向けにわかりやすく解説したハンドブック「まもろう札幌の仲間たち。」を作成しました。

「まもろう札幌の仲間たち。」では、「札幌市版レッドリスト2016」の概要のほか、生き物の絶滅の原因や生き物を絶滅から守るためにできることなどを子ども向けに解説したもので、生き物のイラストを多用するなど、親しみやすい内容となっています。

<http://www.city.sapporo.jp/kankyo/biodiversity/redlist.html>



▼「まもろう札幌の仲間たち。」

生物多様性さっぽろ応援宣言



札幌市では、平成27年9月より、生物多様性の保全に積極的に取り組んでいる企業・団体を、「生物多様性さっぽろ応援宣言企業・団体」として登録し、札幌市がその取組をPRして、企業・団体のみなさまの取組を支援する制度、「生物多様性さっぽろ応援宣言」を開始しました。

平成29年12月現在で、78企業、23団体が登録しています。

<http://www.city.sapporo.jp/kankyo/biodiversity/sengen.html>



宣言企業

78企業

- | | | | |
|--|---|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ● 赤帽田中館運送店 ● (株)あづまや質店 ● (株)アドバコム ● (株)アミノアップ化学 ● イオン北海道(株) ● 石上車輛(株) ● (一財)さっぽろ健康スポーツ財団 ● (株)エコ・サッポロ ● (株)エコニクス ● エコオフィスジャパン(株) ● FRSコーポレーション(株) ● (株)FF ● (株)大庭組 ● 岸本産業(株) ● (株)キタデン ● 協友建設工業(株) ● クボタ環境サービス(株) 北海道支店 ● (株)熊谷組 北海道支店 ● (株)建設環境研究所 札幌支店 ● (株)建設技術研究所 北海道支店 | <ul style="list-style-type: none"> ● (株)耕電設 札幌支店 ● ことばサポーターなぐね ● (株)小林サイクル商会(オニキス札幌中央) ● (株)サジェコ ● (株)札幌今村電機 ● (公財)札幌市公園緑化協会 ● (株)さっぽろ自然調査館 ● 札幌大同印刷(株) ● (株)札幌ドーム ● (株)札幌リフォームセンター ● 三兼建設工業(株) ● システムサービス(株) ● 正電テクノ ● (株)昭和陶業 ● (株)水工技研 ● 鈴木総合住設 ● 生活協同組合コープさっぽろ ● (株)セイショウ ● (株)セ・プラン ● (株)ソフトガーデン | <ul style="list-style-type: none"> ● (株)大伸 ● 大同舗道(株) ● (株)長大 ● (株)ディスプレイセンター北創 ● デリシャス(株) ● (株)東亜エンジニアリング ● (株)東急コミュニティー 北海道支店 ● (株)トーエイ ● (株)ドーコン ● 西松建設(株) 札幌支店 ● (株)日水コン 北海道支所 ● 日本航空(株) ● 日本信号(株) 北海道支店 ● (株)花の八幡屋 ● (株)日立ソリューションズ東日本 ● 富士ゼロックスシステムサービス(株) 北海道支店 ● (株)プリプレス・センター ● (株)ホクスイ設計コンサル ● (株)北洋銀行 | <ul style="list-style-type: none"> ● 北海道コンソ急送(株) ● (株)北海道アルバイト情報社 ● 北海道衛生工業(株) ● (株)北海道建設新聞社 ● 北海道トンボ(株) ● 北海道フーズ輸送(株) ● 丸富テント工業(株) ● マルホン北英建設(株) ● マルミプラス(株) ● (株)宮田組石工 ● 明和工業(株) ● 森山泰志税理士事務所 ● 安田興業(株) ● 雪印種苗(株) ● 雪印メグミルク(株) ● (株)ユニコロン ● 横浜植木(株) 北海道支店 ● (株)リベース ● (株)ローソン |
|--|---|---|--|

宣言団体

23団体

- | | | | |
|--|--|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ● 旭山記念公園市民活動協議会 ● NPO法人エゾシカネット ● NPO法人カラカネイトンボを守る会 -あいあい自然ネットワーク- ● NPO法人札幌歩こう会 ● NPO法人札幌カラス研究会 ● サッポロさとらんど | <ul style="list-style-type: none"> ● (公社)札幌消費者協会 北海道エゾシカ倶楽部 ● 札幌市立定山浜中学校 ● 札幌南ふゆみずたんぼの会 ● 札幌ワイルドサーモンプロジェクト ● 食輪の会 ● 地縁団体 藤ヶ丘西町内会 | <ul style="list-style-type: none"> ● 手稲さと川探検隊 ● 八紘学園 耕機科 ● 北海道希少生物調査会 ● 北海道グリーン購入ネットワーク ● (公財)北海道自然体験学習財団 ● 北海道シマフクロウの会 | <ul style="list-style-type: none"> ● NPO法人北海道森林ボランティア協会 ● 北海道ボランティア・レンジャー協議会 ● NPO法人ポロクル ● 舞鶴国蝶オオムラサキ保存会 ● NPO法人藻岩山きのご観察会 |
|--|--|---|--|

※平成29年12月現在、五十音順

株式会社プリプレス・センター

<http://www.pripress.co.jp/>



プリプレス・センターは、「環境に配慮した会社を目指す」ことを社是とし、事業全体を通して森林保全の活動に取り組んでいます。カーボンオフセット年賀状やカレンダーの販売数量に応じて美幌町の「年賀の森」で植林を行うほか、北海道グリーン購入ネットワーク主催の白旗山での植林企画に協力するなど、市民が参加できる森林保全の仕組みをつくっています。また、2020年度までにCO₂排出量の50%削減を目指し、事業活動や製品輸送時だけでなく、社員の家庭から排出したCO₂についても、カーボンオフセットを行っています。社外への啓発活動にも力を入れており、クライアントへは環境仕様の製品を積極的に提案しています。

特定非営利活動法人カラカネイトンボを守る会 — あいあい自然ネットワーク —

<http://www.7b.biglobe.ne.jp/~karakane/index.html>



平成27年より本会では、田んぼに関わる行事を行っています。農家に田んぼをお借りし、田植え、生き物探し、稲刈りを行い、体験活動とおして生物多様性について学んでいます。平成28年には、田植えや稲刈りの際に神事も行い、生き物の恵みに感謝しながら体験活動を行っています。また、生き物探しでは、10種類近くのヤゴやカエル、水生昆虫などの生き物を見つけることができ、改めてお米と生き物のつながりを学びました。日本の原風景であるトンボやホタルが飛び交う身近な湿原「田んぼ」づくりを目指して活動を続けていきます。

札幌市の取組一覧

P 4～6 で紹介した事例以外にも、札幌市では生物多様性の保全につながるさまざまな取組を行っています。

事業名	概要	4つの施策の柱	担当部署
鳥獣被害防止 (特定外来生物の防除)	農作物被害防止の一環として、特定外来生物であるアライグマ等(アライグマ、カニクイアライグマ、アメリカミンク)について、「札幌市におけるアライグマ・カニクイアライグマ防除実施計画書」に基づき適正に処理。	理解 協働 継承 活用	経済観光局 農業支援センター
合併処理浄化槽 普及促進事業	河川環境の保全のため、し尿・生活雑排水を下水道と同様に衛生的に処理することができる合併処理浄化槽の設置費及び維持管理費の一部を補助。 http://www.city.sapporo.jp/seiso/haisui/	理解 協働 継承 活用	環境局 事業廃棄物課
環境影響評価事業 (環境アセスメント)	大規模開発等による自然環境等への影響について未然に回避・低減等を図り、生態系や生物多様性を保全するため、法及び市条例に基づく環境アセスメント手続きを実施。 http://www.city.sapporo.jp/kankyo/assessment/	理解 協働 継承 活用	環境局 環境管理担当課
さっぽろ環境賞	環境保全に関する意識の向上、環境配慮活動のさらなる推進を図ることを目的に、札幌の豊かな環境の保全に貢献する個人、企業、団体を顕彰。第8回表彰では「市民・団体部門」10件、「企業部門」9件の合計19件の応募の中から8件を顕彰。 http://www.city.sapporo.jp/kankyo/award/	理解 協働 継承 活用	環境局 環境管理担当課
さっぽろ エコメンバー 登録制度	環境配慮取組の輪を広げることを目的とした制度。「生物多様性の保全に向けた取組・支援」など、環境に配慮した取組を自主的に行っている市内事業所を取組内容に応じて3段階の区分で登録。ホームページ等でその活動を紹介。 http://www.city.sapporo.jp/kankyo/management/ecomember/	理解 協働 継承 活用	環境局 環境管理担当課
野生鳥獣 (ヒグマ)の対応	市街地周辺にヒグマが出没した際、関係機関と連携を図り、出没状況に応じた対応・対策を実施。また、平成29年3月に策定した「さっぽろヒグマ基本計画」に基づき、危機管理体制の整備など、出没時の対応を充実するとともに、被害を未然に防止するために、市街地侵入抑制策など総合的な対策を実施。 http://www.city.sapporo.jp/kurashi/animal/choju/kuma/	 理解 協働 継承 活用	環境局 環境管理担当課
野生鳥獣 (エゾシカ)の対応	市街地の住宅密集地に出没したエゾシカについて、市民生活への被害を防止するため、関係機関等と連携を図り、追い払い・見守り・捕獲などの対応を実施。 http://www.city.sapporo.jp/kurashi/animal/choju/shika/	理解 協働 継承 活用	環境局 環境管理担当課
野生鳥獣(ヒグマ、 エゾシカを除く)の 対応	11種の野生鳥獣について鳥獣保護管理法に基づく「有害鳥獣捕獲許可事務」を行い、市民と野生鳥獣とのトラブルの軽減、適正な保護を実施。また、繁殖期における親ガラスの威嚇行為軽減のため、専門業者に委託し、子ガラス捕獲放鳥業務を実施。 http://www.city.sapporo.jp/kurashi/animal/choju/	理解 協働 継承 活用	環境局 環境管理担当課
特定外来生物 (アライグマ)の対応	外来生物法に基づき策定した「札幌市におけるアライグマ防除実施計画」により、適正な生態系の保全のため、専門業者に委託し、アライグマ捕獲処理業務を実施。	理解 協働 継承 活用	環境局 環境管理担当課
サケの遡上親魚捕獲 及び産卵床調査	河川におけるサケの定期的な遡上親魚調査及び産卵床調査を実施し、遡上状況や産卵環境を把握。結果は、市民へ情報提供。 http://www.sapporo-park.or.jp/sake/	理解 協働 継承 活用	建設局 みどりの管理課
みどり資源の 保全推進事業	市街地を取り巻く森林や市街地に残された貴重な樹林地のうち、自然環境・景観及び防災などの公益的機能上特に保全が必要な地域や、開発等により保全上支障をきたす地域を計画的に公有化し、保全。 http://www.city.sapporo.jp/ryokuka/midori/hozen/	理解 協働 継承 活用	建設局 みどりの管理課
市民の森事業	市街地を取り巻く一般民有林を自然のふれあいの場として市民に開放するとともに、所有者の協力を得ながら当該森林の整備に努め、将来にわたり良好な森林として保全。 http://www.city.sapporo.jp/ryokuka/midori/shizen/shiminomori/	理解 協働 継承 活用	建設局 みどりの管理課
さっぽろ ふるさとの森づくり 植樹祭&育樹祭	みどり豊かな潤いのあるまちづくりの一環として、市民や企業との協働による愛着を感じる森づくりを「あいの里・福移の森緑地」で開催。430名の参加のもと、苗木1,270本の植樹を実施。 http://www.city.sapporo.jp/ryokuka/midori/machi/hanamidori/furumori/	理解 協働 継承 活用	建設局 みどりの管理課
森林ボランティア	「都市環境林」等において、草刈、間伐、枝打ち等の市民による積極的な森林保全活動を実施。資機材の提供・技術指導、森林ボランティアとして登録している17団体の活動を支援。 http://www.city.sapporo.jp/ryokuka/midori/volunteer/	理解 協働 継承 活用	建設局 みどりの管理課
札幌 水源の森づくり	貴重な水源林である定山溪国有林の再生及び機能の維持・向上と、市民と森林の関わりを深めることを目的に、林野庁北海道森林管理局と共催で市民参加のもとバイオブロック苗木(カミネッコ)を400個作成し、植樹を実施。 http://www.city.sapporo.jp/ryokuka/midori/machi/	理解 協働 継承 活用	建設局 みどりの管理課
外来種除去 ボランティア	円山公園内に繁茂するゴボウ、イワミツバ等の外来種除去活動を市民ボランティアにより実施。 http://maruyamapark.jp/	 理解 協働 継承 活用	建設局 みどりの管理課
クゲヌマラン 生息調査	豊平公園内で自生するクゲヌマランの生息状況についての調査を実施。自生しているエリアは、生育期は草刈りを実施しないなど保全を実施。 http://www.sapporo-park.or.jp/toyohira/	理解 協働 継承 活用	建設局 みどりの管理課
緑化講習会の開催 (豊平公園)	鉢花や果樹等に関する植物講習会を年40回以上開催し、殺虫剤に頼らない栽培方法などについて普及啓発を実施。 http://www.sapporo-park.or.jp/toyohira/	理解 協働 継承 活用	建設局 みどりの管理課
コガネムシの捕殺活動 (平岡樹芸センター)	園内の樹木(オンコ)の害虫であるコガネムシが大量発生した場合、殺虫剤による一律駆除ではなく、捕殺による駆除を公園ボランティアと共に実施。 http://www.sapporo-park.or.jp/jyugei/	理解 協働 継承 活用	建設局 みどりの管理課

自然環境の保全

	事業名	概要	4つの施策の柱	担当部署
自然環境の保全	平岡公園におけるトノサマガエルの生態・影響調査	「平岡どんぐりの森」、「酪農学園大学」、「東海大学」との協働で、国内外来種であるトノサマガエルの調査を実施。 http://hiraoka-park.jp/	理解 協働 継承 活用	建設局 みどりの管理課
	平岡公園人工湿地・池環境調査	平成11年度に造成された人工湿地・池の植物・動物・水質調査を実施。 http://hiraoka-park.jp/	理解 協働 継承 活用	建設局 みどりの管理課
	大通花壇市民による花苗植え込み	大通公園の花壇の花苗の植え込みを、一般市民・企業・市民団体・小学生などとの協働により3回実施。 http://www.sapporo-park.or.jp/odori/	理解 協働 継承 活用	建設局 みどりの管理課
	札幌市河川環境推進会議の開催	よりよい河川環境を保全・創出するため、札幌市河川環境推進会議を開催することで、「札幌市河川環境指針」の進捗状況を確認し、自然環境を考えた川づくりが行われているか検証。 http://www.city.sapporo.jp/kensetsu/kasen/kankyoushishin/suisinkaigi.html	理解 協働 継承 活用	下水道河川局 河川事業課
	多自然川づくり(多自然型川づくり含む)	治水を目的とした河川改修にあたって、良好な水辺空間を円滑かつ積極的に形成するため、河川が本来有している生物の良好な生息環境への配慮と、美しい自然景観を保全・創出する「多自然川づくり」を実施。	理解 協働 継承 活用	下水道河川局 河川事業課
	札幌市河川美化活動支援制度	札幌市の維持管理河川等において、河川等の愛護精神の高揚及び良好な河川環境の保全を目的に、河川等の美化活動(清掃・草刈等)を実施する町内会・河川愛護団体・企業・NPO等を支援。 http://www.city.sapporo.jp/kensetsu/kasen/menu07-04.html	理解 協働 継承 活用	下水道河川局 河川管理課
	札幌市河川モニター制度	河川監視の強化と、市民の河川に対する関心を高めることを目的に、市民による河川愛護活動の活性化及び市民の観点による河川環境情報の収集を図る施策の一環として実施。 http://www.city.sapporo.jp/kensetsu/kasen/menu07-01.html	理解 協働 継承 活用	下水道河川局 河川管理課
	河川水環境調査	下水処理水が河川環境へ与える影響を把握するため、各河川の環境基準達成に必要な各水再生プラザの放流水質を算出し、実態を調査。また、水再生プラザ上下流での付着珪藻・底生動物の生息状況を調査し、生態系に与える影響を評価。	理解 協働 継承 活用	下水道河川局 処理施設課
	下水処理施設の適切な運転管理	河川の環境基準達成のため、下水処理施設の適切な運転管理による放流水質の改善を継続して実施。 http://www.city.sapporo.jp/gesui/01yakuwari/03_genkyo10.html	理解 協働 継承 活用	下水道河川局 処理施設課
	白石区まち美化プログラム	ボランティアによる、区内道路の清掃活動等を支援し、環境美化に対する市民意識の高揚を図るとともに、市民と行政との協働による環境美化活動を推進。 http://www.city.sapporo.jp/shiroishi/machi/katsudo/machibika/	理解 協働 継承 活用	白石区 地域振興課
	清田区アダプト・プログラム	地域団体や企業による道路など、一定区画の公共の場所における継続的な環境美化活動を支援。(参加団体15団体) http://www.city.sapporo.jp/kiyota/chiiki-shinko/adopt.html	理解 協働 継承 活用	清田区 地域振興課
	西区アダプト・プログラム	市民や企業による道路や公園などの自主的な清掃活動に対し、さまざまな支援を行い、地域の活動を支援。(参加団体42団体) http://www.city.sapporo.jp/nishi/machizukuri/adopt/adopt_pg.html	理解 協働 継承 活用	西区 地域振興課
川の美化事業	春と秋の2回、各連合町内会や地元の企業・団体等の有志により、琴似発寒川と左股川の河畔約12kmを清掃。(参加者3,296名)	理解 協働 継承 活用	西区 地域振興課	
地域住民による野生生物保全事業	星置緑地等3公園に自生するスズラン、ミズバショウ、カタクリ等の地域住民による保全活動を推進。専門家による自然観察会、帰化植物の抜き取りやススキの刈り取り等の作業指導も実施。 http://www.city.sapporo.jp/teine/dobokubu/kouenryokuka/hozennkatudou.html		理解 協働 継承 活用	手稲区 維持管理課
自然体験	水生生物観察会の支援	水辺環境の保全と活用に関する市民意識の啓発のため、水生生物観察会への環境教育リーダー等の派遣、調査用品の貸出等の支援を実施。 【環境対策課(29回、参加者1,391名)】 http://www.city.sapporo.jp/kankyo/mizu_kankyo/jigyou/ 【河川事業課】 http://www.city.sapporo.jp/kensetsu/kasen/seibutsukansatsukai.html	理解 協働 継承 活用	環境局 環境対策課 下水道河川局 河川事業課
	さかなウォッチングの実施	北の沢川・琴似発寒川・星置川において、たも網を使用して、淡水魚等の水辺の生物を捕獲し、それぞれの種・生態・河川環境等を解説し、普及啓発を図っている。参加者を募集する際は応募型とし、また、学校等の申込によるさかなウォッチングも可能な限り対応している。 http://www.sapporo-park.or.jp/sake/	理解 協働 継承 活用	建設局 みどりの管理課
	サケ観察会の実施	豊平川・琴似発寒川・星置川において、市民を対象としたサケ観察会を実施し、遡上するサケやサクラマス等の生態や河川環境等の解説を行い、普及啓発を実施。 http://www.sapporo-park.or.jp/sake/	理解 協働 継承 活用	建設局 みどりの管理課
	白旗山札幌ふれあいの森における自然観察会	白旗山ふれあいの森の中を自然観察案内人と一緒に歩き、森の仕組みやおすすめのポイントなどを学ぶ自然観察会を実施。 http://www.city.sapporo.jp/ryokuka/midori/shizen/shirahatayama/hureainomori/syousai1.html	理解 協働 継承 活用	建設局 みどりの管理課
	円山のリス調査	円山公園内に生息するエゾリス、シマエゾリスの市民参加型生態調査を実施。 http://maruyamapark.jp/	理解 協働 継承 活用	建設局 みどりの管理課
	サクラツアー	モエレ沼公園サクラの森に咲くサクラを案内し、本州と比較してサクラの開花が遅い理由や、サクラの生育環境の説明をし、サクラを取り巻く自然環境の勉強をしよう。 http://moerenumapark.jp/	理解 協働 継承 活用	建設局 みどりの管理課
	実生苗でミニ盆栽を作ろう	モエレ沼公園サクラの森で、モミジやサクラ等の実生苗を掘り取ってミニ盆栽を作製。その際、実生苗の生育環境や根の観察を行い、生態等について説明を実施。 http://moerenumapark.jp/	理解 協働 継承 活用	建設局 みどりの管理課
	サクラの管理体験会	モエレ沼公園サクラの森でサクラの植え替えや支柱交換を体験し、サクラが好む環境を考えてみよう。 http://moerenumapark.jp/	理解 協働 継承 活用	建設局 みどりの管理課

	事業名	概要	4つの施策の柱	担当部署	
自然体験	公園スタッフと歩く、冬芽観察会	モエレ沼公園内で生育している樹木の冬芽を観察し、自然が色々なバリエーションを持っていることを説明。また、春の渡り鳥の観察や、冬から春に変わる季節の変化を公園で体験。 http://moerenumpark.jp/	理解 協働 継承 活用	建設局 みどりの管理課	
	中島Kidsガーデン	地域団体との共催で児童向け体験菜園を実施し、子ども達が楽しみながら植物や土に触れ学習できる場を提供。苗の植え込み、管理作業、収穫、調理、まとめ新聞の作成など全19回の活動。 http://www.sapporo-park.or.jp/nakajima/		建設局 みどりの管理課	
	都会の野鳥観察会	都市部において野鳥と親しみ、その生態や接し方を理解するための観察会を実施。専門家と一緒に園内を歩き、野鳥の観察、意見交換、質疑応答などを実施。 http://www.sapporo-park.or.jp/nakajima/	理解 協働 継承 活用	建設局 みどりの管理課	
	鴨々川いきもの観察会	市民を対象に札幌市の中心部を流れる鴨々川(創成川)での生物観察会を実施。 【みどりの管理課】 http://www.sapporo-park.or.jp/nakajima/ 【河川事業課】 http://www.city.sapporo.jp/kensetsu/kasen/menu0901.html	理解 協働 継承 活用	建設局 みどりの管理課 下水道河川局 河川事業課	
	月寒川にぎわい川まつり	子どもを中心とした地域住民が、地域の自然や環境について考えるきっかけとなるよう、専門家の指導のもと、月寒川に生息する動植物の観察体験を実施。水車等を使った発電実験やカヌー・チューブ乗り等のプログラムを実施。 http://www.city.sapporo.jp/shiroishi/machi/furusatokai/kawamatsuri/	理解 協働 継承 活用	白石区 地域振興課	
	青葉中央公園ジャック(自然とふれあおう)	子どもたちが普段とは違った視点から自然を観察することで、自然に対する関心や愛着を高めてもらうこと等を目的として、ツリーイング(ロープを使った木登り)を実施。また、地域住民と協働で青葉中央公園内の動植物を観察する自然観察会や「ホテル観察会」も実施。		理解 協働 継承 活用	厚別区 地域振興課 青葉まちづくりセンター
	あしりべつ川体験塾	小学生に自然の大切さや生命の尊さを実感してもらうことを目的に、NPO法人あしりべつ川の会等、ボランティア団体との協働で、「あしりべつ川」を教材とした自然体験イベントを実施。(平成28年度は台風による増水のため中止)。 http://www.city.sapporo.jp/kiyota/chiiki-shinko/ashiribetsugawa/ashiribetsugawa.html	理解 協働 継承 活用	清田区 地域振興課	
	ホテル観賞事業	区民に自然環境の保護・保全について関心を持ってもらうため、NPO法人札幌清田ホテルの会の協力のもと、ホテル育成のための環境整備、幼虫放流式、観賞会を開催。 http://www.city.sapporo.jp/kiyota/chiiki-shinko/hotaru/hotaru.html	理解 協働 継承 活用	清田区 地域振興課	
	白旗山自然探検隊	白旗山の自然への理解を深めることを目的として、自然に詳しい案内人と散策用歩道を歩き、植物・虫・鳥等の特徴や生態について説明する自然観察会を実施。 http://www.city.sapporo.jp/kiyota/chiiki-shinko/shirahatayama/tankentai/tankentai.html		理解 協働 継承 活用	清田区 地域振興課
	琴似発寒川への稚魚放流事業	身近な川を理解し自然に親しむため、各連合町内会が主体となり、琴似発寒川及び左股川6会場で、ヤマメの稚魚30,000匹の放流を実施。(参加者2,030名)	理解 協働 継承 活用	西区 地域振興課	
小学生の夢・10年後の手稲のまち事業	子どものまちづくりへの関心を高めるため、小学4年生から「10年後の手稲のまち」をテーマに絵を募集。アイデア作品を受賞した児童を対象に、星観緑地で植物観察、星置川で水生生物観察を実施。 http://www.city.sapporo.jp/teine/shimin/chiikishinkou/shougaku_yume.html	理解 協働 継承 活用	手稲区 地域振興課		
環境教育	環境紙芝居の配布	平成27年度に制作した「第1回生物多様性さっぽろ絵本コンテスト」の最優秀賞と優秀賞の作品の紙芝居を2部ずつ増刷し、中央図書館へ配架。	理解 協働 継承 活用	市民文化局 消費生活課	
	アイヌ文化交流センター運営事業	自然の恵みに感謝し、共存しながら暮らしていたアイヌ民族の伝統文化や自然観を、屋内外の様々な展示物などで紹介。 http://www.city.sapporo.jp/shimin/pirka-kotan/	理解 協働 継承 活用	市民文化局 アイヌ施策課	
	博物館活動センター事業	札幌の自然やまちの成り立ちについて、屋内展示物や体験学習会といった各種行事への参加を通じて紹介。 https://www.city.sapporo.jp/museum/	理解 協働 継承 活用	市民文化局 文化振興課	
	人とペットの暮らしひろば2016	動物愛護の精神及び適正飼育の普及啓発を図るとともに、動物と触れ合うことの楽しさを知ってもらうことを目的として、一般社団法人札幌市小動物獣医師会との共催で開催。ポスターやパネルの展示、クイズラリー、数多くの体験型イベントやふれあいイベント等を実施。 http://www.city.sapporo.jp/inuneko/event/aigo_syukan2016.html	理解 協働 継承 活用	保健福祉局 動物管理センター	
	どうぶつあいご教室	近年、子どもたちが動物と触れ合う機会が少なくなっていることから、幼稚園と保育園を対象に、札幌市動物愛護推進員と協力して、犬との接し方等についての講義を実施。 http://www.city.sapporo.jp/inuneko/main/suisinin.html	理解 協働 継承 活用	保健福祉局 動物管理センター	
	リードをつないで楽しくお散歩キャンペーン	公の場所での犬の放し飼いをなくすため、全市的なキャンペーンを実施。あわせて、大規模公園にて飼い犬参加型のマナー教室を実施。 http://www.city.sapporo.jp/inuneko/event/kouensanpo.html	理解 協働 継承 活用	保健福祉局 動物管理センター	
	「ポイ捨て等防止条例」の周知啓発	美しいまちづくりを推進し、観光都市さっぽろにふさわしい環境を確保するため、地下鉄駅の掲示板やホーム柵にポスターを掲示し、タバコのポイ捨て禁止等の周知啓発を実施。 http://www.city.sapporo.jp/seiso/poisute/	理解 協働 継承 活用	環境局 事業廃棄物課	
	札幌市環境副教材	環境教育の推進を図るため、地球温暖化による動植物への影響等を記載した「札幌市環境副教材」を作成し、小学校(新1・3・5年生)へ配付。 http://www.city.sapporo.jp/kankyo/kankyo_kyoiku/material/	理解 協働 継承 活用	環境局 環境計画課	

事業名	概要	4つの施策の柱	担当部署
校外学習用バスの貸出	環境教育の推進を図るため、小中学校を対象に、清掃工場やごみ処理場、上下水道施設等の環境関連施設見学の無料貸出を実施。校外学習の参考となる14のモデルコースの中に、円山動物園や豊平川さけ科学館で学ぶ「生物多様性について学ぶコース」も設定。 http://www.city.sapporo.jp/kankyo/kankyo_kyoiku/bus-rent/	理解 協働 継承 活用	環境局 環境計画課
環境教育へのクリック募金	環境保全活動に取り組む企業から寄附を募り、小中学校へ「水の生き物観察セット」、「双眼実態顕微鏡」等の環境教育に関する教材を寄贈。 https://www.kankyo.sl-plaza.jp/bokin/		環境局 環境計画課
札幌市環境プラザ運営事業	札幌市環境プラザにおいて、展示物を利用した環境教育の推進をはじめ、環境に関する講座や環境相談等を実施。また、市民の自主的な環境学習を支援するため、「環境保全アドバイザー」や「環境教育リーダー」を派遣。 http://www.kankyo.sl-plaza.jp/	理解 協働 継承 活用	環境局 環境計画課
小中学生向けエコライフレポート	子どもたちが継続してエコ行動(節電、ごみ減量等)を意識し、実践してもらうため、家庭内のできる身近なエコ行動の取組チェック表を作成・配布し、結果の集計を実施。 http://www.city.sapporo.jp/kankyo/kankyo_kyoiku/ecolifereport/ecolifereport.html	理解 協働 継承 活用	環境局 環境計画課
環境広場さっぽろ	産官学民による環境配慮の取組の発信と、環境技術や商品、サービス等の普及を図るとともに、来場者1人ひとりに対して地球環境を守るための行動の促進を図るため、総合環境イベントとして「さっぽろECO活!未来のために今行動しよう。」をテーマに開催。(来場者30,029名)	理解 協働 継承 活用	環境局 環境計画課
水辺の活動パネル展	河川等の水辺での活動を広く周知するため、市内4か所の小学校が行った水辺での活動内容を紹介するパネル展を地下歩行空間で開催。(参加者1,472名) http://www.city.sapporo.jp/kankyo/management/ems_jigyosha/houkokushoten.html	理解 協働 継承 活用	環境局 環境対策課
環境教育プログラムの実施	「円山動物園基本構想」の基本理念に基づき、札幌の環境教育の拠点として様々な環境教育プログラムを展開、実施。 ●ドキドキ体験(猛禽類のフリーフライト等)の実施 ●動物の生息地の環境問題、地球温暖化の影響等に関する市民向け講座、総合学習における講義 ●環境問題、外来生物飼育動物の放棄、密猟・密輸等に関する説明看板の設置 ●小学生向け環境教育教材の提供 ●「北海道の野生動物復元プロジェクト」における環境教育の実施 ●動物園ボランティアによる動物ガイド http://www.city.sapporo.jp/zoo/	理解 協働 継承 活用	環境局 飼育展示課
生物多様性推進事業	都市の身近な生き物を含め、動物達のつながりについて知るため講演会、観察会、学習会を実施。 ●専門家による各分野の講演会(外来生物、キノコ、アフリカの野生動物等) ●コウモリ観察会 ●CISEサイエンスターニング http://www.city.sapporo.jp/zoo/	理解 協働 継承 活用	環境局 飼育展示課
札幌の水辺の生物の飼育及びパネル展示	多種の淡水魚、甲殻類、両生類等について、水槽飼育、パネル展示による解説、実際に触れる機会を設ける等、普及啓発を図っている。 http://www.sapporo-park.or.jp/sake/	理解 協働 継承 活用	建設局 みどりの管理課
外来生物の飼育及びパネル展示	外来生物について、飼育展示やパネル解説等により、水辺環境や在来生物にもたらす弊害についての普及啓発を実施。 http://www.sapporo-park.or.jp/sake/	理解 協働 継承 活用	建設局 みどりの管理課
緑の絵コンクール	小中学生を対象に自然の大切さや緑化に関する意識の高揚を図ることを目的に、公益財団法人札幌市公園緑化協会との共催事業として実施。(応募総数25校517点) http://sapporo-park.or.jp/kikin/	理解 協働 継承 活用	建設局 みどりの管理課
緑と花のフォトコンテスト	公益財団法人札幌市公園緑化協会の主催事業として、公園・緑地で撮影した、緑や花の魅力、美しさ、公園でのひととき、自然とのふれあい等を表現した写真作品を募集。(応募総数495点) http://sapporo-park.or.jp/kikin/	理解 協働 継承 活用	建設局 みどりの管理課
まるやま野生動物カフェ	身近な野生動物と人との関わり方を考えるトークイベントを開催。 http://maruyamapark.jp/	理解 協働 継承 活用	建設局 みどりの管理課
野生動物への餌付け検討会	過度な餌付けによって野生動物と人との距離が近くなりすぎている現状に対し、今後、野生動物と共存していくためにどうすべきか考える検討会を開催。 http://maruyamapark.jp/	理解 協働 継承 活用	建設局 みどりの管理課
植物残渣のリサイクルや環境教育	百合が原公園及び他の公園から発生する剪定枝、落ち葉、刈草、花柄等をチップ化、堆肥化し公園の花壇等に還元し環境負荷を軽減。近隣小中学校等の公園を利用した環境学習、職場体験で普及啓発を行っている。 http://yuri-park.jp/	理解 協働 継承 活用	建設局 みどりの管理課
ひらおか春のカエルツアー	平岡公園に侵入したトノサマガエル(国内外来種)と在来のカエルを観察し、環境教育を実施。 http://hiraoka-park.jp/	理解 協働 継承 活用	建設局 みどりの管理課
フェアトレードフェスタ	大通公園にてフェアトレードフェスタを開催し、フェアトレード商品の普及啓発を実施。 http://www.sapporo-park.or.jp/odori/	理解 協働 継承 活用	建設局 みどりの管理課
バラフェスタでのバラの撮影講習会	大通公園バラフェスタにて、バラの観察、写真撮影を行う講習会を開催。 http://www.sapporo-park.or.jp/odori/	理解 協働 継承 活用	建設局 みどりの管理課
創成川ライラック写真募集	創成川公園にて、ライラックの開花期に、市民が撮影したライラックの写真を募集し、HP・イベント等で展示発表。 http://www.sapporo-park.or.jp/sousei/	理解 協働 継承 活用	建設局 みどりの管理課
河川事業パネル展	河川事業や川にすむ生き物等を紹介するパネル展を実施。 http://www.city.sapporo.jp/kensetsu/kasen/panel/panel.html	理解 協働 継承 活用	下水道河川局 河川事業課

	事業名	概要	4つの施策の柱	担当部署	
環境教育	環境に優しいまちづくり支援	<ul style="list-style-type: none"> ●エコキッズ・プログラム:川や公園等での自然体験教室(49回、参加者2,553名) ●親子でエコキッズプログラム:未就園児と保護者の自然体験教室(2回、参加者62名) ●西区コドモ自然学校:小学4年生を対象とした自然体験学習会(2回、参加者54名) ●親子で環境満喫バスツアー:親子で札幌市内の工場をめぐる、各施設の省エネやリサイクル等、環境に関する取組みについて学べるバスツアー(2回、参加者75名) ●西区子ども環境広場:ゲームや実験などの体験を通じて環境を学ぶ体験型環境イベント(参加者720名) ●エコトーク映画会:環境についての講演と映画上映会(参加者414名) ●使用済み廃食油の独自回収(16団体、9,045リットル回収) など http://www.city.sapporo.jp/nishi/machizukuri/kankyo-kyogikai/top.html		理解 協働 継承 活用	西区 地域振興課
	さっぽろ市民カレッジ	さっぽろ市民カレッジにおいて、森の役割について学ぶ「森の学校」や、ミツバチの生態から身の回りの自然環境について考える「ミツバチがつくるサッポロ」等の講座を実施。 http://chieria.slp.or.jp/		理解 協働 継承 活用	教育委員会 生涯学習推進課
	さっぽろエコスクール宣言「さっぽろっこ環境ウィーク」	エコスクール宣言をした市立幼稚園・学校が、「環境首都・札幌」の宣言日である6月25日にあわせて環境に関わる取組「エコアクション」を実施。幼児・児童・生徒の環境を守り育てようとする態度を育むとともに、その取組をホームページ上で発信。 https://www.city.sapporo.jp/kyoiku/sidou/sappororashiisuishinzigyoku.html		理解 協働 継承 活用	教育委員会 教育課程担当課
地産地消	「さっぽろとれたてっこ」に関する取組	札幌市やJAさっぽろ等により構成される札幌市農業振興協議会の事業として、「さっぽろとれたてっこ」認証制度とこれに関連する取り組みを実施。認証生産者の拡大と市内消費者へのPRを通じ、環境負荷の低減を可能とする農業や、環境に配慮した消費行動を推進。 http://www.city.sapporo.jp/keizai/nogyo/toretate/		理解 協働 継承 活用	経済観光局 農業支援センター
	さっぽろ食スタイルの普及・啓発事業	第2次札幌市食育推進計画の推進の柱としている「さっぽろ食スタイル」の普及啓発を、食生活改善推進員協議会・食育サポート企業等と連携・協働して実施。 http://www.city.sapporo.jp/hokenjo/syokuiku/s08hokkaido.html		理解 協働 継承 活用	保健福祉局 健康企画課
	さっぽろ食の安全・安心市民交流事業	食品の生産から販売までフードチェーンの各段階の現場で、食の安全・安心がどのように守られているか、農場や工場等を見学し、市民と事業者が意見交換等を行う体験学習を実施。 http://www.city.sapporo.jp/hokenjo/shoku/shokumachi/koryujigyoy/		理解 協働 継承 活用	保健福祉局 食の安全推進課
	さっぽろ子ども食品Gメン体験事業	食品の生産から販売までフードチェーンの各段階の現場で、食の安全・安心がどのように守られているか札幌市中央卸売市場、スーパー等を見学して食品衛生監視員の仕事を通じて学べる体験学習を実施。 http://www.city.sapporo.jp/hokenjo/shoku/shokumachi/koryujigyoy/		理解 協働 継承 活用	保健福祉局 食の安全推進課
	春の山菜展2016	道内で毎年のように発生している毒草の誤食による食中毒を防ぐための啓発イベントを、道立衛生研究所の薬用植物園にて、同研究所と札幌市保健所の共催により開催。(参加者694名)		理解 協働 継承 活用	保健福祉局 食の安全推進課
	きよたマルシェ	地産地消の推進や食による清田の魅力発信を目的に開催。清田区や近郊の農家による軽トラでの農産物販売や、区内飲食店や菓子店が清田野菜を使った軽食やお菓子等の販売を実施。また、札幌の名のつく伝統野菜(サッポロナンバン、サッポロミドリ等)の販売・PRを実施。 http://www.city.sapporo.jp/kiyota/chiiki-shinko/kumin_kaigi/marche.html		理解 協働 継承 活用	清田区 地域振興課
	キッズ・シェフ	子どもたちが自ら収穫した野菜等を使い調理することで、地産地消と食べ物の大切さを学ぶ料理教室を実施。(3回、参加者延べ20組42名)		理解 協働 継承 活用	西区 地域振興課
ごみ減量	スリムシティさっぽろ計画の推進	札幌市一般廃棄物処理基本計画「スリムシティさっぽろ計画(改定版)」に基づき、環境負荷低減に向けた各種のごみ減量施策を実施。 https://www.city.sapporo.jp/seiso/keikaku/slimplan2/	理解 協働 継承 活用	環境局 循環型社会推進課	
	さっぽろ学校給食フードリサイクル	学校給食の調理くずや食べ残しを堆肥化し、市内の農家でその堆肥で育てた作物を全小中学校の給食に取り入れるという食物の循環の取組を実施。また、小中学校の「フードリサイクル堆肥活用校」(178校)では、堆肥を活用した栽培活動等の取組を実施。 http://www.city.sapporo.jp/kyoiku/top/kyushoku/recycle/foodrecycle.html	理解 協働 継承 活用	教育委員会 保健給食課	
省エネルギー	省エネ・節電啓発事業	低炭素社会の実現のため、ムダなく、かしく省エネ・節電を楽しむ暮らし方「さっぽろスマートライフ」が定着した街を目指し、うちエコ診断、家庭の消費電力量見える化機器の貸出等市民参加型の事業により、普及啓発を実施。 http://www.city.sapporo.jp/kankyo/ondanka/ecolife_suishin/	理解 協働 継承 活用	環境局 環境計画課	
	エコドライブ活動定着推進事業	自動車から排出される二酸化炭素の低減を目的に、運転シミュレーターやパンフレットを用いた市民への啓発活動、運転診断機材の貸し出しや講習会の開催により、事業者のエコドライブ活動を支援。 http://www.city.sapporo.jp/kankyo/zidousya_kankyo/ecodrive.html	理解 協働 継承 活用	環境局 環境計画課	
	次世代エネルギーシステム導入補助事業	地球温暖化対策として再生可能エネルギーの一つである、間伐材や林地残材などの木材を原料とした木質バイオマス燃料の利用拡大の取組を推進。 ●ペレットストーブ導入補助(28台) ●ペレット燃料購入者への地域ポイント付与 ●ペレットストーブ展示会 ●市有施設へのペレットストーブ、ボイラーの導入推進(ボイラー:3台) http://www.city.sapporo.jp/kankyo/energy/wood/tenjikai/	理解 協働 継承 活用	環境局 エコエネルギー推進課	
	環境負荷の軽減の取り組み	百合が原公園リリートレイン、作業機械の一部にバイオディーゼル関連燃料を使用し、二酸化炭素の排出量を軽減。 http://yuri-park.jp/	理解 協働 継承 活用	建設局 みどりの管理課	
	環境マネジメントシステム(EMS)の運用	エネルギー使用量の削減や環境に配慮した物品や役務を積極的に調達するグリーン購入の推進等、事務事業における環境負荷の低減を実施。 http://www.city.sapporo.jp/kankyo/management/ems_torikumi/shiyakusho.html		理解 協働 継承 活用	全庁

生物多様性さっぽろビジョンの進行管理

生物多様性さっぽろビジョン(P2参照)では、推進する施策として「理解する」、「協働する」、「継承する」及び「活用する」の4つの柱を立てており、柱ごとに成果指標を定めて、進行管理を行っています。

指標及び進捗状況

施策の柱	指標	基準値 (平成23年度)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	目標値 (平成32年度)
理解する	生物多様性の理解度 (意味を知っている人の割合)	33.1%	28.8%	36.6%	33.7%	34.8%	60%
協働する	生物多様性保全活動に参加したり、取り組んでいる市民・事業者の割合	市民: 5.6% 事業者: 40.4%	市民: 5.1% 事業者: 44.4%	市民: — 事業者: 64.3%	市民: — 事業者: 66.6%	市民: — 事業者: 64.5%	市民: 10% 事業者: 60% ※1
継承する	主な生息・生育地における指標種の生息状況 ※2	—	—	—	—	—	生息し続けていること、又は増えていること
活用する	自然と積極的に触れ合っている市民の割合	24.2%	19.5%	—	—	—	35%
	市民の地産地消や環境配慮商品の利用促進	地産地消: 65.7% 環境配慮商品: 27.4%	地産地消: 59.3% 環境配慮商品: 25.0%	—	—	—	地産地消: 75% 環境配慮商品: 50%
	事業者の原材料調達時の配慮の促進	30.0%	57.5%	69.4%	44.7%	50.0%	50%

※1「生物多様性保全活動に取り組んでいる事業者の割合」(協働する)については、平成27年度の目標値。

※2「主な生息・生育地における指標種の生息状況」(継承する)については、今後、指標種を選定し、モニタリング調査により生息状況を把握する予定。

評価と今後の取組

平成28年度は、「理解する」取組として、「札幌市版レッドリスト2016」について子ども向けにわかりやすく解説したハンドブック「まろう札幌の仲間たち。」を作成し、市内の小学校等への配布を行いました。また、「協働する」取組として、市民参加型の生き物一斉調査である「さっぽろ生き物さがし2016」を実施し、動植物の生息・生育情報の収集に努めました。

「継承する」取組としては、地域住民が身近な自然や環境について考えるきっかけとなるようなパネル展、エゾシカをテーマとした体験事業、昆虫採集教室を開催しました。また、「活用する」取組としては、省エネルギーやごみ減量、地産地消など、生物多様性に配慮したライフスタイルを推進するため、各種啓発イベントを実施しました。

成果指標については、市民及び企業意識アンケートを行った結果、「生物多様性の理解度」(理解する)と「事業者の原材料調達時の配慮の割合」(活用する)が、平成27年度に比べ上昇し、後者は目標値である50%に達しました。

今後も、生物多様性の理解度の向上と市民や事業者の行動をより一層促進するため、普及啓発や市民参加型の取組の強化・充実を図るとともに、生物多様性をよりわかりやすく伝える工夫や関心の低い層への働きかけを行っていきます。また、生物多様性の保全・持続可能な利用に向けた実践行動として、外来種対策や希少種の保全の取組もあわせて行っていきます。



●編集・発行 平成30年(2018年)3月

札幌市環境局環境都市推進部環境管理担当課
〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目 札幌市役所本庁舎12階
TEL 011-211-2879 FAX 011-218-5108

